◆欅 材.(けやきざい)。～ 薮欅(青欅)と真欅(赤欅)の二種類がある. 薮欅は冬目がよく通り夏目が非常に堅い少々青味のあるものであり. 真欅は夏目が柔らかく薄茶色であり. 古来から寺院建築の用材として用いられてきたが. 現在では大きな材が少なくなり. 座敷の棚廻りの材料として. 又家具などに使われている. 張り材としても出廻っているが. 中には塩地に着色して欅の如く見せているものもあり. 欅材の中でも最高級品は渦巻状の珠杢である. 各地に産するが. 日向. 霧島産のものや. 相馬産などがあげられる。

◆楠 材.(くすざい)。～ 各地に産するが. 日向. 肥後地方で大きい材が得られる. 木質は冬目. 夏目とも余り堅くない. 香材であるため御不浄(便所)の床板として用いられる. また近年では食卓の天板としても使われている. 大樹の例としては薩摩西郷神社の本殿の天井板がある. 直径10尺の大樹から鏡板としてとり張り上げたという話がある。

◆桑 材(くわざい)。～ 古く中国より入ってきたものと伝え聞いているが. 東北. 山陰などの寒い地方で良材の原材が得られるという. 用途としては床脇の棚. 書院の天板などに. また桑卓(くわじゃく)と称して茶道具にも用いられている. 木質はチーク材によく似ているが. 冬目がよく立ち年数が経つ程に艶が出る。

◆椙 材(たぶざい)。～ 楠材によく似た木質であるが. 楠よりやや堅くまた香りがないため. 床脇の地板や家具等に用いられている。

◆槙 材(まきざい)。～ 山城. 伊賀地方に多くまた各地に産するが. 特に 高野槙材 として高野山のものが最上とされる. 木質は冬目は余り立たないが湿気に強い木で. 色合いは薄黄色である. また少々柔らかでもある. 用途として浴室用材に最適である。

◆栗 材。～ 様々の種類があるが. 特に山陽. 四国地方に大きい原樹が産するといわれ. 尾州栗は尾州桧に似た木質をもち他の栗材に比べて灰汁(あく)が少なく扱い易い材料である. このような良材を使って古い時代は「栗の間」など座敷が造られたが一種独特を味わいのあるものである. 直径が1尺5寸以下のものでは造作材として良材は得難い. 栗材は水分に対して強いため. 建物の土台や外廻りの壁止などに. また細い曲がり木は塀などの控え柱に山ナグリを施して用いられている。茶室で木地の炉縁として使用が好まれる。

◆桜 材。～ 各地に産するが大きい原樹は少ない. 古来から造作材として上り框や和室の敷居などに使われていたが現在では張り板材として家具類に多く使われている. 堅い木質であるが水分に弱いところがある。

◆桐 材 ～ 会津産を一級品とし. 他に羽前. 羽後などの産がある. 会津桐は冬目がよく立ち. 夏目は他の桐に比べて少々堅く. 色合に斑かない. また鉋の仕上がりは豊かな艶をもつ. 座敷の板欄間. 和箪笥その他多くの家具類. 桐箱等に用いられいる。 湿度や火(火災)等に強い。

◦桐材. 杉材. など板(天井板(裏板))の仕上げ。～ 裏金(押え)のない一枚鉋で鉋屑